○当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（商品）	
信託期間	無期限	
運用方針	・主として金現物拠出型上場外国信託「SPDR（スパイダー）® ゴールド・シェア※1」への投資を行うと共に、その投資金額相当額の米ドルについて原則として為替ヘッジを行うことにより、金地金価格を示す「LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース）※2」の円ヘッジベースの動向を反映する投資成果の獲得を目指します。 ※1 正式名称： SPDR® Gold Shares ※2 正式名称：「LBMA Gold Price PM」（ICE ベンチマーク・アドミニストレーション(ICE Benchmark Administration)が、午後決め値として公表する、1トロイオンス当りの米ドル建ての金価格）LBMA は、ロンドン貴金属市場協会(London Bullion Market Association)の略称	
主要運用対象	SPDR（スパイダー）® ゴールド・シェア	金地金等
	短期国債マザーファンド	日本の短期公社債等
組入制限	・金現物拠出型上場外国信託およびマザーファンドへの投資割合には制限を設けません。 ・株式への投資は、転換社債の転換請求および新株予約権の行使により取得可能なものに限り、実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。	
分配方針	毎決算時に、原則として次の通り収益分配を行う方針です。 ①分配対象額の範囲 分配対象額は、経費控除後の利子・配当収入および売買益（評価益を含みます）等の範囲内とします。 ②分配方針 分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象金額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用方針 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、元本部分と同一の運用を行います。	

<ファンドに関する照会先>
電話番号　03(4530)7333
お問い合わせ時間（営業日）　9:00～17:00
ホームページアドレス www.statestreet.com/im

ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が行う資産運用関連業務のブランド名です。

STATE STREET
INVESTMENT MANAGEMENT

ステートストリート・ゴールドファンド（為替ヘッジあり）

第 14 期　運用報告書(全体版)
(決算日 2026 年 8 月 20 日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申しあげます。

この度、当ファンドは上記の通り決算を行いましたので、運用状況をご報告させていただきます。

今後とも、ご愛顧のほどよろしくお願い申しあげます。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
〒105-6325 東京都港区虎ノ門一丁目 23 番 1 号 虎ノ門ヒルズ森タワー25 階

◎最近５期の運用実績

決算期	基準価額			<参考指数>		受益証券発行信託の受益証券組入比率	債券組入比率	債券先物組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
10期('22年8月22日)	7,697	0	△ 3.9	8,565	△ 2.7	99.7	0.0	–	5,365
11期('23年8月21日)	7,748	0	0.7	8,696	1.5	102.3	0.0	–	6,724
12期('24年8月20日)	9,586	0	23.7	10,802	24.2	93.8	0.0	–	9,567
13期('25年8月20日)	11,962	0	24.8	13,767	27.5	98.9	0.0	–	21,602
14期('26年8月20日)	15,340	0	28.2	17,723	28.7	96.5	0.0	–	35,926

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注2) 参考指数は「LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース）」の円ヘッジベースで、LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース）について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が円ヘッジ効果を勘案のうえ、ファンド設定日を10,000として指数化したものです。
(注3) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		<参考指数>		受益証券発行信託の受益証券組入比率	債券組入比率	債券先物組入比率
		騰落率		騰落率			
(期首)	円	%		%	%	%	%
'25年8月20日	11,962	–	13,767	–	98.9	0.0	–
8月末	12,325	3.0	14,048	2.0	99.3	0.0	–
9月末	13,730	14.8	15,747	14.4	99.1	0.0	–
10月末	14,367	20.1	16,400	19.1	101.0	0.0	–
11月末	14,834	24.0	17,018	23.6	99.3	0.0	–
12月末	15,379	28.6	17,708	28.6	99.5	0.0	–
'26年1月末	18,964	58.5	21,926	59.3	100.5	0.0	–
2月末	18,192	52.1	20,975	52.4	99.9	0.0	–
3月末	15,685	31.1	18,270	32.7	99.8	0.0	–
4月末	15,739	31.6	18,199	32.2	100.2	0.0	–
5月末	15,518	29.7	17,727	28.8	99.8	0.0	–
6月末	13,770	15.1	16,078	16.8	100.0	0.0	–
7月末	14,047	17.4	16,361	18.8	98.1	0.0	–
(期末)							
'26年8月20日	15,340	28.2	17,723	28.7	96.5	0.0	–

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 参考指数は「LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース）」の円ヘッジベースで、LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース）について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が円ヘッジ効果を勘案のうえ、ファンド設定日を10,000として指数化したものです。
(注3) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

当期の運用実績　（2025 年 8 月 21 日から 2026 年 8 月 20 日まで）

基準価額と参考指数の推移



(注1) 参考指数は「LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース)」の円ヘッジベースで、LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース）について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が円ヘッジ効果を勘案のうえ、前期末の基準価額にあわせて指数化したものです。
(注2) 基準価額は、分配金（税込み）を再投資したものとして計算しています。

決算期	期首基準価額 (分配落ち)	期末基準価額 (分配落ち)	分配金	基準価額 騰落率	参考指数 騰落率
第14期	11,962円	15,340円	0 円	+28.2%	+28.7%

当期末の基準価額は15,340円となり、前期末の11,962円に比べて3,378円の上昇となりました。

基準価額の変動要因

参考指数(「LBMA午後金価格(1トロイオンス当たり／米ドルベース)」の円ヘッジベース)の動きをほぼ反映して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境」をご参照ください。

参考指数との比較

基準価額の騰落率は28.2%となり、参考指数の騰落率(28.7%)を0.5%下回りました。主な要因は、以下の通りです。

【参考指数との差異の要因】
参考指数の騰落率との差異は運用管理コスト等が理由として挙げられます。

収益分配金

当期の収益分配金は基準価額の水準、市況動向などを勘案した結果、見送りとしております。また収益分配に充てず信託財産に留保した収益は、特に制限を設けず、元本部分と同様の運用を行う方針です。

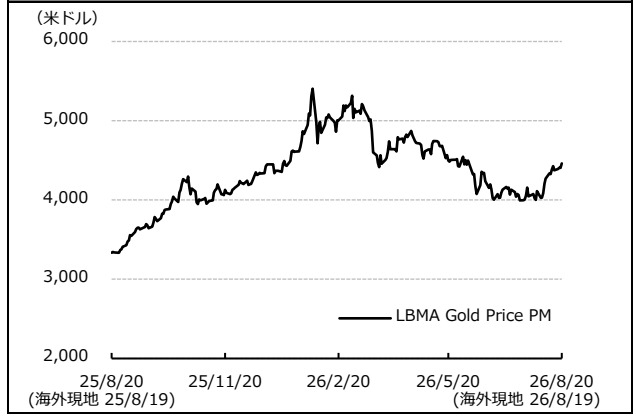
投資環境　（2025 年 8 月 21 日から 2026 年 8 月 20 日まで）

金価格市況

世界の株式市場は、期の前半は、米利下げ観測や米関税交渉の進展期待を背景に堅調に推移しました。期の後半には、中東情勢の緊迫化や利下げ観測の後退を背景にリスク回避姿勢が強まり、調整する場面もみられました。期末にかけては、米国とイランの停戦合意を受けた地政学リスクの後退に加え、AI関連株を中心としたハイテク株高が相場を支え、上昇しました。

債券市場は、序盤に米利下げ観測の高まりが債券の買いを促しましたが、期の中盤以降は、各国の財政悪化懸念、中東情勢の緊迫化を受けた原油高を背景としたインフレ懸念と米利下げ観測の後退などを背景に、債券の売りが優勢となりました。

LBMA午後金価格(1トロイオンス当たり)の推移



このような環境下、金価格は上昇しました。期の前半は米利下げ観測の台頭や地政学リスクの高まりを背景に堅調に推移しました。期の後半以降は、米利下げ観測の後退や米ドル高が重荷となり、上昇幅を縮小しました。

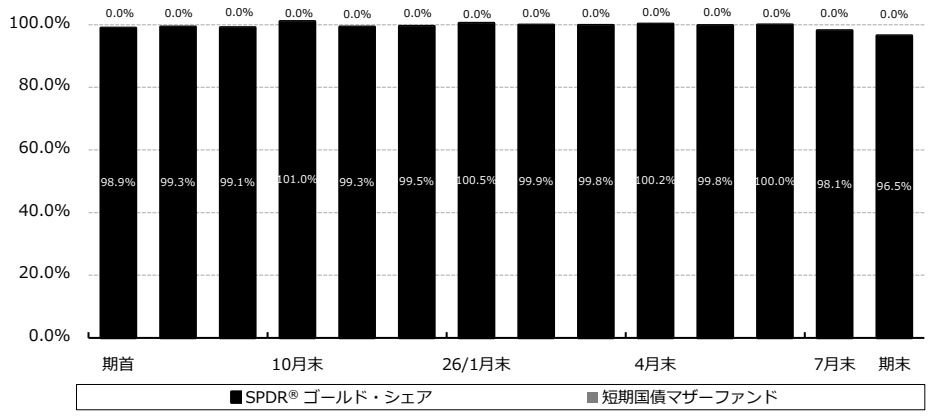
運用の概況　（2025 年 8 月 21 日から 2026 年 8 月 20 日まで）

当ファンドは、主として金現物拠出型上場外国信託「SPDR®ゴールド・シェア」への投資を行うと共に、その投資金額相当額の米ドルについて原則として為替ヘッジを行うことにより、金地金価格を示す「LBMA午後金価格(1トロイオンス当たり／米ドルベース)」の円ヘッジベースの動向を反映する投資成果の獲得を目指して運用を行うことを基本的な運用方針としています。また、主として国債を中心に日本の短期公社債等に投資を行い、安定した投資成果の獲得を目指す親投資信託「短期国債マザーファンド」受益証券にも投資を行います。外国信託受益証券への投資は原則として高位を維持し、その投資金額相当の米ドルについては原則として為替ヘッジを行います。

受益証券発行信託の受益証券・マザーファンドの組入状況

当期も、設定･解約や為替ヘッジ評価損益の変化に伴う一時的な増減を除き、受益証券発行信託の受益証券(SPDR®ゴールド・シェア)を高位に組み入れました。

受益証券発行信託の受益証券・マザーファンド組入状況の推移



今後の運用方針

今後も引き続き、短期資金運用の一環として安定した投資成果の獲得を目指す親投資信託「短期国債マザーファンド」受益証券への投資を低位に維持しながら、主として金現物拠出型上場外国信託「SPDR®ゴールド・シェア」への投資を行うと共に、その投資金額相当額の米ドルについて原則として為替ヘッジを行うことにより、金地金価格を示す「LBMA午後金価格(1トロイオンス当たり／米ドルベース)」の円ヘッジベースの動向を反映する投資成果を目指します。

◎1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

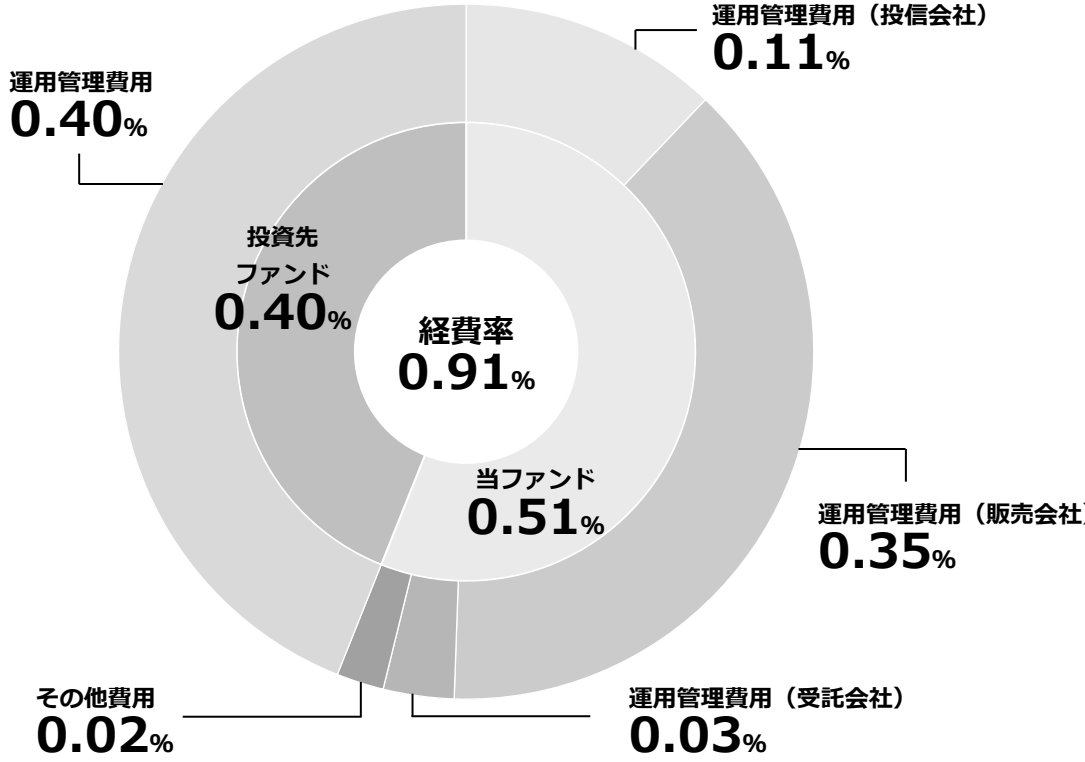
項目	当期 (2025年8月21日～2026年8月20日) 金額	比率	項目の概要
平均基準価額	15,212円	－	期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	75円	0.495%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 消費税は報告日の税率を採用しています。
(投信会社)	(17)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(54)	(0.352)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(受益証券発行信託の受益証券)	(0)	(0.001)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(受益証券発行信託の受益証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	3	0.020	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.009)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.011)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	・その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	78円	0.516%	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
(注5) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した**経費率(年率)は0.91%です**。



経費率（①＋②）	0.91%
①当ファンドの費用の比率	0.51%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%

(注1) 当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注5) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれていません。
(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎売買および取引の状況(’25 年 8 月 21 日から’26 年 8 月 20 日まで)

○受益証券発行信託の受益証券

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	(アメリカ)	百口	千米ドル	百口	千米ドル
	ＳＰＤＲ®ゴールド・シェア	2,039	83,095	1,493	59,188

(注1) 金額は受渡代金です。
(注2) 単位未満は切り捨てています。

◎主要な売買銘柄(’25 年 8 月 21 日から’26 年 8 月 20 日まで)

○国内公社債(短期国債マザーファンドにおける主要な売買銘柄)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第 1363 回 国庫短期証券	3,144,723	第 1281 回 国庫短期証券	2,097,244
第 1369 回 国庫短期証券	3,068,164	第 1369 回 国庫短期証券	1,980,606
第 1382 回 国庫短期証券	1,977,934	第 1270 回 国庫短期証券	1,499,284
第 1394 回 国庫短期証券	1,976,574	第 1319 回 国庫短期証券	795,480
第 1388 回 国庫短期証券	1,927,631	第 1363 回 国庫短期証券	793,969
第 1351 回 国庫短期証券	1,487,391	第 1307 回 国庫短期証券	497,980
第 1332 回 国庫短期証券	1,166,462	第 1313 回 国庫短期証券	298,538
第 1331 回 国庫短期証券	999,315		
第 1336 回 国庫短期証券	997,171		
第 1326 回 国庫短期証券	993,221		

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。
(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。
(注3) 単位未満は切り捨てています。

◎利害関係人との取引状況等(’25 年 8 月 21 日から’26 年 8 月 20 日まで)

○当期中の利害関係人との取引状況

決算期	当期					
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	915,285	1,783	0.2	921,342	1,788	0.2

(注) 単位未満は切り捨てています。

○当期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項　　目	当　　期
売買委託手数料総額（A）	402千円
うち利害関係人への支払額（B）	－千円
(B)／(A)	－%

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY です。

◎組入資産の明細('26 年 8 月 20 日現在)

○ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末			
	口数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
	口	千米ドル	千円	%
SPDR®ゴールド・シェア	528,538	218,730	34,664,356	96.5
合計	528,538	218,730	34,664,356	96.5

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注2) 比率は当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。
(注3) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。

○親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
短期国債マザーファンド	98	98	100
合計	98	98	100

(注1) 単位未満は切り捨てています。
(注2) 当期末における短期国債マザーファンド全体の口数は15,002,568千口です。

当期末における株式および新株予約権証券の残高はありません。

下記は、短期国債マザーファンド全体(15,002,568 千口)の内容です。

○国内(邦貨建)公社債　種類別開示

区　　分	当　　期　　末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組入比率	残存期間別組入比率		
				(うちBB格以下)	5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国　債　証　券	13,600,000	13,497,027	88.4	－	－	－	88.4
	(13,600,000)	(13,497,027)	(88.4)	(－)	(－)	(－)	(88.4)
合　　計	13,600,000	13,497,027	88.4	－	－	－	88.4
	(13,600,000)	(13,497,027)	(88.4)	(－)	(－)	(－)	(88.4)

(注1) 評価については、原則として金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注2) (　)内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。
(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。
(注4) 格付については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注5) 金額の単位未満は切り捨てています。

○国内(邦貨建)公社債　銘柄別開示

種　　類	銘　　柄　　名	利　率	額 面 金 額	評　価　額	償還年月日
		%	千円	千円	
国　債　証　券	第 1332 回　国庫短期証券	－	1,175,000	1,173,922	2026/ 9 /24
	第 1345 回　国庫短期証券	－	1,000,000	997,265	2026/11/20
	第 1351 回　国庫短期証券	－	1,500,000	1,494,330	2026/12/21
	第 1363 回　国庫短期証券	－	2,375,000	2,360,284	2027/ 2 /22
	第 1369 回　国庫短期証券	－	1,100,000	1,091,932	2027/ 3 /23
	第 1375 回　国庫短期証券	－	500,000	495,727	2027/ 4 /20
	第 1382 回　国庫短期証券	－	2,000,000	1,980,444	2027/ 5 /20
	第 1388 回　国庫短期証券	－	1,950,000	1,928,080	2027/ 6 /21
	第 1394 回　国庫短期証券	－	2,000,000	1,975,042	2027/ 7 /20
合　　計			13,600,000	13,497,027	

(注1) 評価については、原則として金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

◎投資信託財産の構成('26 年 8 月 20 日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ＳＰＤＲ®ゴールド・シェア	34,664,356	95.9
短期国債マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	1,476,845	4.1
投資信託財産総額	36,141,301	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル＝158.48円です。
(注2) 当期末における外貨建純資産(34,686,367千円)の投資信託財産総額(36,141,301千円)に対する比率は96.0%です。
(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

('26年8月20日現在)

項目	当期末
	円
(A)資産	70,958,610,091
コール・ローン等	450,478,958
SPDR®ゴールド・シェア(評価額)	34,664,356,695
短期国債マザーファンド(評価額)	100,030
未収入金	35,843,663,425
未収利息	10,983
(B)負債	35,032,108,764
未払金	34,847,361,616
未払解約金	86,290,600
未払信託報酬	96,316,250
その他未払費用	2,140,298
(C)純資産総額(A−B)	35,926,501,327
元本	23,419,900,580
次期繰越損益金	12,506,600,747
(D)受益権総口数	23,419,900,580口
1万口当たり基準価額(C／D×10,000)	15,340円

(注) 期首元本額 18,060,125,140円
期中追加設定元本額 19,431,079,161円
期中一部解約元本額 14,071,303,721円

◎損益の状況

当期（自'25年8月21日 至'26年8月20日）

項目	当期
	円
(A)配当等収益	3,828,808
受取利息	3,828,808
(B)有価証券売買損益	3,129,806,543
売買益	12,815,962,677
売買損	△ 9,686,156,134
(C)信託報酬等	△ 183,945,428
(D)当期損益金(A＋B＋C)	2,949,689,923
(E)前期繰越損益金	1,595,271,960
(F)追加信託差損益金	7,961,638,864
(配当等相当額)	(9,308,287,578)
(売買損益相当額)	(△ 1,346,648,714)
(G)計 (D＋E＋F)	12,506,600,747
(H)収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	12,506,600,747
追加信託差損益金	7,961,638,864
(配当等相当額)	(9,308,287,619)
(売買損益相当額)	(△ 1,346,648,755)
分配準備積立金	4,544,961,883

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越損益金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
(注4) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
(注5) 分配金の計算過程

A	費用控除後の配当等収益	3,608,754円
B	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	2,946,081,169円
C	収益調整金	9,308,287,619円
D	分配準備積立金	1,595,271,960円
E	分配対象収益（A+B+C+D）	13,853,249,502円
F	分配対象収益（1万口当たり）	5,915円
G	分配金	0円
H	分配金（1万口当たり）	0円

◎1万口当たり分配原資の内訳(税込み)

項　　目		第14期 (2025年8月21日～ 2026年8月20日)
当期分配金		－円
(対基準価額比率)		－%
	当期の収益	－円
	当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額		5,915円

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎約款変更のお知らせ

「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」への変更に伴い、信託約款において当該箇所について所要の変更を2026年4月1日に行いました。

＜参考情報＞ 投資対象とする外国信託の主な概要

ファンド名（英語）	SPDR® Gold Trust
ファンド名（日本語）	SPDR® ゴールド・トラスト
商品性と仕組み	金地金価格を示す「LBMA午後金価格(1 トロイオンス当たり／米ドルベース)(注 1)」の動向を反映する投資成果の獲得を目指す信託契約の受益証券であり、信託資産全体の一部を分割出来ない形で所有する権利を保有しています。信託される資産は、主に金地金と現金に限られ、金地金は英国ロンドンにおいて特定保管(他の金地金と分離して専用保管)されます。 (なお、2022 年 12 月 6 日付で JP モルガン・チェース銀行がカストディアンとして追加されたことにより、金地金の特定保管場所として、英国ロンドンの他に米国ニューヨークおよびスイスのチューリッヒが追加されました。)
計算期間	毎年 10 月 1 日から 9 月 30 日まで
管理会社（スポンサー）	ワールド・ゴールド・トラスト・サービシズ・エルエルシー (World Gold Trust Services, LLC)
信託受託者	ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロンの一部門である BNY・メロン・アセット・サービシング (BNY Mellon Asset Servicing, a division of The Bank of New York Mellon)
マーケティングエージェント	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビューターズ・エルエルシー(注 2) (State Street Global Advisors Funds Distributors, LLC)
カストディアン	エイチエスビーシー・バンク・ピーエルシー(HSBC Bank plc)(注 3) JP モルガン・チェース銀行(JPMorgan Chase Bank, N.A.)(注 4)

※SPDR® Gold Shares(日本語名：SPDR®ゴールド・シェア)とは、SPDR® Gold Trust(日本語名：SPDR®ゴールド・トラスト)の受益権を示しています。
(注1) 2015年3月19日付けでこれまでの「ロンドン午後金値決め価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース）」が廃止されたことにより、2015年3月20日からその後継である「LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース）」に変更されています。
(注2) 2017年5月1日付で State Street Global Markets, LLC（以下「SSGM」）は State Street Global Advisors Funds Distributors, LLC に社名変更いたしました。
(注3) 2014年12月22日から本ファンドのカストディアンを務めています。2014年12月22日以前は、HSBC 銀行 USA (HSBC Bank USA, N.A.) がカストディアンを務めていました。
(注4) 2022年12月6日付で JP モルガン・チェース銀行(JPMorgan Chase Bank, N.A.)がカストディアンとして追加されました。

◎損益および純資産変動計算書（要約）
（計算期間：2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）
受益権 1 口当たりのデータ以外、千米ドル

（単位：千米ドル）

費用	
スポンサー報酬	363,083
費用合計	363,083
費用の減額	–
費用純額	363,083
純投資損失	(363,083)
金投資における未実現利益(損失)の純実現額および変動額	
費用支払のために売却した金投資の純実現利益(損失)	114,866
受益権の償還により分配した金の純実現利益(損失)	11,856,212
金投資における未実現の価値増加(減少)の純変動額	23,945,544
金投資における未実現利益(損失)の純実現額および変動額	35,916,622
純利益(損失)	35,553,538
受益権 1 口当たり純利益(損失)　(米ドル)	111.13
加重平均受益権数(千口)	319,915
純利益(損失)の営業活動により生じた純キャッシュへの調整	
純利益(損失)	35,553,538
純利益(損失)を営業活動により生じた純キャッシュへの調整項目	
費用支払のために売却した金による収入	348,382
費用支払のために売却した金投資の純実現(利益)損失	(114,866)
受益権の償還により分配した金の純実現(利益)損失	(14,856,212)
金投資における未実現の価値増加(減少)の純変動額	(23,945,544)
スポンサーに対する未払金の増加(減少)	14,701
営業活動により生じた純キャッシュ	–
純資産－期首残高	73,704,147
設定	51,354,801
償還	(36,079,627)
純投資損失	(363,083)
費用支払のために売却した金投資の純実現利益(損失)	114,866
受益権の償還により分配した金の純実現利益(損失)	11,856,212
金投資における未実現の価値増加(減少)の純変動額	23,945,544
純資産－期末残高	124,532,860

投資状況

2025 年 9 月 30 日現在

資産の種類	国名(注 1)	時価合計(注 2)	運用比率(%)
金	ロンドン(英国)	HSBC(ロンドン) 9,224,626 千米ドル	7.41%
		JPM(ロンドン) 112,539,500 千米ドル	90.37%
	ニューヨーク(米国)	JPM(ニューヨーク) 2,806,989 千米ドル	2.25%
	小計	124,571,115 千米ドル	100.03%
現金	該当なし	0　米ドル	0%
その他の資産(負債控除後)		−38,255 千米ドル	−0.03%
合計(純資産総額)		124,532,860 千米ドル	100%

(注1) 物理的な所在地を記載しています。
(注2) 時価合計には、金の未収入金を含みます。

STATE STREET
INVESTMENT MANAGEMENT

短期国債マザーファンド

第 17 期　運用報告書
(決算日 2026 年 4 月 15 日)

この度、当ファンドは上記の通り決算を行いましたので、
運用状況をご報告させていただきます。

○当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	・国債を中心に日本の短期公社債等に投資を行い、安定した投資成果を目指して運用を行います。 ・債券組入比率は原則として高位を維持します。
主要運用対象	日本の短期公社債等
組入制限	・公社債への投資割合には制限を設けません。 ・満期1年を超える公社債への投資は行いません。 ・株式への投資は、転換社債の転換請求および新株予約権の行使による取得に限り、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
〒105-6325 東京都港区虎ノ門一丁目 23 番地 1 号 虎ノ門ヒルズ森タワー25 階

◎最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
13期('22年 4月15日)	10,120	△ 0.1	72.0	−	18,062
14期('23年 4月17日)	10,110	△ 0.1	60.8	−	17,270
15期('24年 4月15日)	10,094	△ 0.2	84.8	−	12,381
16期('25年 4月15日)	10,107	0.1	96.8	−	15,997
17期('26年 4月15日)	10,157	0.5	95.9	−	18,057

(注1) 当ファンドは主として満期1年以内の日本の国債を投資対象としておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等を設けておりません。
(注2) 先物比率＝買建比率－売建比率

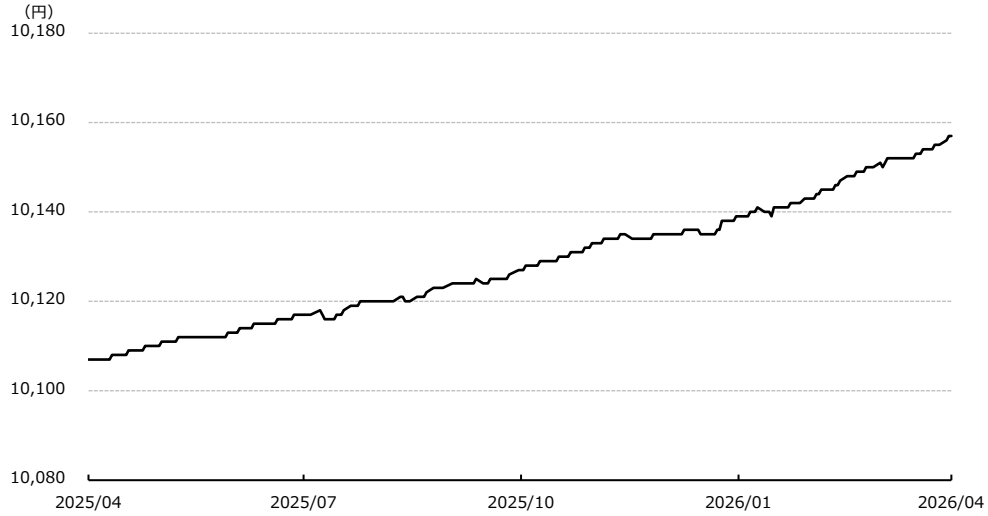
◎当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
(期首)	円	%	%	%
'25年 4月15日	10,107	−	96.8	−
4月末	10,108	0.0	95.8	−
5月末	10,112	0.0	96.9	−
6月末	10,115	0.1	97.1	−
7月末	10,117	0.1	97.7	−
8月末	10,120	0.1	97.6	−
9月末	10,124	0.2	99.5	−
10月末	10,130	0.2	94.6	−
11月末	10,135	0.3	90.2	−
12月末	10,135	0.3	97.1	−
'26年 1月末	10,141	0.3	93.0	−
2月末	10,147	0.4	96.4	−
3月末	10,153	0.5	92.9	−
(期末)				
'26年 4月15日	10,157	0.5	95.9	−

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドは主として満期1年以内の日本の国債を投資対象としておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等を設けておりません。
(注3) 先物比率＝買建比率－売建比率

当期の運用実績　（2025 年 4 月 16 日から 2026 年 4 月 15 日まで）

基準価額の推移



（注）当ファンドは主として満期 1 年以内の日本の国債を投資対象としておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等を設けておりません。

当期末の基準価額は10,157円となり、前期末の10,107円に比べて50円の上昇となりました。

基準価額の変動要因

債券のインカム要因がプラスに寄与しました。
運用管理コストや売買コスト等がマイナスに寄与しました。

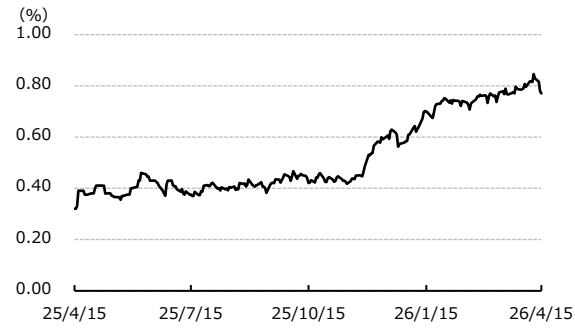
投資環境　（2025 年 4 月 16 日から 2026 年 4 月 15 日まで）

短期国債市場

短期国債市場は、利回りが上昇する軟調な展開となりました。

序盤から中盤にかけて米利下げ観測を受けた米長期金利低下が金利低下圧力となりましたが日銀の利上げ観測が金利上昇圧力となる中、一進一退の展開となりました。その後は日銀の利上げや利上げ継続観測が重荷となる中、利回りは上昇基調で推移しました。

3 か月物国庫短期証券利回り



運用の概況　（2025 年 4 月 16 日から 2026 年 4 月 15 日まで）

当マザーファンドは、主として国債を中心に日本の短期公社債などに投資を行い、安定した投資成果の獲得を目指して運用を行うことを基本的な運用方針としています。公社債への投資は原則として高位を維持し、外貨建資産に対する投資は行っておりません。

期を通じて国庫短期証券を購入し、保有を継続しました。

今後の運用方針

今後も引き続き市場を注視しながら、国庫短期証券への投資を通じて安定した投資成果を目指します。

◎1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

該当事項はありません。

◎売買および取引の状況('25年4月16日から'26年4月15日まで)

○公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	28,420,282	5,586,205 (21,075,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。
(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。
(注3) 単位未満は切り捨てています。

◎主要な売買銘柄('25年4月16日から'26年4月15日まで)

○公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第1319回 国庫短期証券	3,181,018	第1281回 国庫短期証券	2,097,244
第1363回 国庫短期証券	3,144,723	第1270回 国庫短期証券	1,499,284
第1303回 国庫短期証券	3,097,008	第1319回 国庫短期証券	1,193,157
第1369回 国庫短期証券	3,068,164	第1307回 国庫短期証券	497,980
第1307回 国庫短期証券	2,488,884	第1313回 国庫短期証券	298,538
第1313回 国庫短期証券	2,238,233		
第1351回 国庫短期証券	1,487,391		
第1299回 国庫短期証券	1,398,817		
第1332回 国庫短期証券	1,166,462		
第1331回 国庫短期証券	999,315		

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。
(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。
(注3) 単位未満は切り捨てています。

◎利害関係人との取引状況等('25年4月16日から'26年4月15日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産の明細('26 年 4 月 15 日現在)

○国内(邦貨建)公社債　種類別開示

区　　分	当　　期　　末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組入比率	残存期間別組入比率		
				(うちBB格以下)	5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国　債　証　券	17,400,000	17,309,772	95.9	－	－	－	95.9
	(17,400,000)	(17,309,772)	(95.9)	(－)	(－)	(－)	(95.9)
合　　計	17,400,000	17,309,772	95.9	－	－	－	95.9
	(17,400,000)	(17,309,772)	(95.9)	(－)	(－)	(－)	(95.9)

(注1) 評価については、原則として金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注2) (　)内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。
(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。
(注4) 格付については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注5) 金額の単位未満は切り捨てています。

○国内(邦貨建)公社債　銘柄別開示

種　　類	銘　柄　名	利　率	額 面 金 額	評　価　額	償還年月日
		%	千円	千円	
国　債　証　券	第 1300 回 国庫短期証券	－	500,000	499,958	2026/ 4/20
	第 1307 回 国庫短期証券	－	2,000,000	1,998,602	2026/ 5/20
	第 1313 回 国庫短期証券	－	1,950,000	1,947,211	2026/ 6/22
	第 1319 回 国庫短期証券	－	2,000,000	1,995,826	2026/ 7/21
	第 1326 回 国庫短期証券	－	1,000,000	997,074	2026/ 8/20
	第 1332 回 国庫短期証券	－	1,175,000	1,170,430	2026/ 9/24
	第 1345 回 国庫短期証券	－	1,000,000	994,387	2026/11/20
	第 1351 回 国庫短期証券	－	1,500,000	1,490,088	2026/12/21
	第 1363 回 国庫短期証券	－	3,175,000	3,147,021	2027/ 2/22
	第 1369 回 国庫短期証券	－	3,100,000	3,069,173	2027/ 3/23
合　　計			17,400,000	17,309,772	

(注1) 評価については、原則として金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

当期末における株式および新株予約権証券の残高はありません。

◎投資信託財産の構成('26 年 4 月 15 日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	17,309,772	95.9
コール・ローン等、その他	747,628	4.1
投資信託財産総額	18,057,400	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

('26年4月15日現在)

項目	当期末
	円
(A)資産	18,057,400,676
コール・ローン等	747,614,421
公社債(評価額)	17,309,772,425
未収利息	13,830
(B)純資産総額(A)	18,057,400,676
元本	17,778,183,620
次期繰越損益金	279,217,056
(C)受益権総口数	17,778,183,620口
1万口当たり基準価額 (B/C×10,000)	10,157円

(注1) 期首元本額 15,828,297,579円
期中追加設定元本額 10,660,673,280円
期中一部解約元本額 8,710,787,239円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

フレックス資産配分ファンド・プラス<適格機関投資家限定>	10,443,827,728円
フレックス資産配分戦略ファンド<適格機関投資家限定>	3,401,461,295円
短期国債ファンドVA<適格機関投資家限定>	2,680,389,554円
債券タームスプレッド・プレミア・ファンド<適格機関投資家限定>	839,902,494円
フレックス資産配分ファンド<適格機関投資家限定>	412,484,660円
ステートストリート・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)	98,252円
ステート・ストリート新興国債券インデックス・オープン	19,637円

◎損益の状況

当期 (自'25年4月16日 至'26年4月15日)

項目	当期
	円
(A)配当等収益	80,414,181
受取利息	80,414,181
(B)有価証券売買損益	△ 4,772,578
売買益	4,116,364
売買損	△ 8,888,942
(C)当期損益金(A+B)	75,641,603
(D)前期繰越損益金	168,823,165
(E)追加信託差損益金	148,111,842
(F)解約差損益金	△ 113,359,554
(G) 計 (C+D+E+F)	279,217,056
次期繰越損益金(G)	279,217,056

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

◎約款変更のお知らせ

「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」への変更に伴い、信託約款において当該箇所について所要の変更を2026年4月1日に行いました。

◎ブランド名変更のお知らせ

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズはブランド名をステート・ストリート・インベストメント・マネジメントに変更いたしました。ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が行う資産運用関連業務のブランド名です。